

対ウズベキスタン共和国 事業展開計画

2018年 4月 現在

<p>基本方針 (大目標)</p>	<p>経済成長の促進と格差の是正に向けた支援の実施</p>										
<p>重点分野 1 (中目標)</p>	<p>経済インフラの更新・整備 (運輸・エネルギー)</p>										
<p>開発課題 1 (小目標) 公共事業の経営改善、インフラ設備の効率的利用促進</p>	<p>【現状と課題】 旧ソ連時代に整備されたインフラの多くが老朽化しているほか、旧ソ連の崩壊による各国の独立に伴って新たに発生した国境線で分断されたネットワーク (電力、鉄道・道路等) を国内インフラとして再編するための多大な負担が生じているところ、持続的な経済成長を確保するためには、運輸分野 (鉄道・道路等) やエネルギー分野 (発電所建設等) の再整備及び管理・運用面での能力構築支援が求められている。</p>	<p>【開発課題への日本の対応方針】 技術面でのウズベキスタン側のニーズを的確に踏まえつつ、持続的な経済成長に貢献する質の高いインフラの整備を通じたウズベキスタンの経済発展の基盤作りに貢献していく。</p>									
<p>協力プログラム名</p>	<p>協力プログラム概要</p>	<p>案件名</p>	<p>スキーム</p>	<p>実施期間</p>						<p>支援額 (億円)</p>	<p>備考</p>
<p>運輸インフラ改善プログラム</p>	<p>独立後、資金手当が必ずしも十分になされず老朽化が進む運輸インフラの更新と適切な維持管理、域内の経済発展と安定の基盤となる国際輸送ネットワークの確立を目的とし、輸送力の向上や域内の物流活性化に資する質の高いインフラ整備や制度構築などへの支援を行う。</p>	<p>カルシーテルメズ鉄道電化計画</p>	<p>有償</p>	<p>2017 年度 以前</p>	<p>2018 年度</p>	<p>2019 年度</p>	<p>2020 年度</p>	<p>2021 年度</p>	<p>2022 年度</p>	<p>180.67</p>	
		<p>経済社会開発計画</p>	<p>無償</p>		<p>2018 年度</p>	<p>2019 年度</p>	<p>2020 年度</p>			<p>8.00</p>	<p>道路整備機材供与</p>
		<p>道路分野の課題別研修</p>	<p>課題別研修他</p>	<p>2017 年度 以前</p>	<p>2018 年度</p>	<p>2019 年度</p>	<p>2020 年度</p>				
<p>エネルギー・インフラ改善プログラム</p>	<p>老朽化の著しい発電所などのエネルギー施設の更新と増加するエネルギー需要への対応を目的とし、火力発電所等への先端技術を有する設備の導入を図るとともに、電力開発計画の策定支援や発電設備運転維持管理に関する技術協力、配電施設や財務・料金システムの改善などにかかる研修を通じた支援を行う。</p>	<p>タリマルジャン火力発電所増設計画</p>	<p>有償</p>	<p>2017 年度 以前</p>	<p>2018 年度</p>	<p>2019 年度</p>				<p>274.23</p>	<p>アジア開発銀行 (ADB)との協調融資</p>
		<p>ナボイ火力発電所近代化計画</p>	<p>有償</p>	<p>2017 年度 以前</p>	<p>2018 年度</p>	<p>2019 年度</p>	<p>2020 年度</p>	<p>2021 年度</p>	<p>2022 年度</p>	<p>348.77</p>	
		<p>トゥラルクガン火力発電所増設計画</p>	<p>有償</p>	<p>2017 年度 以前</p>	<p>2018 年度</p>	<p>2019 年度</p>	<p>2020 年度</p>	<p>2021 年度</p>	<p>2022 年度</p>	<p>718.39</p>	<p>電力セクター・プロジェクト・ローン (SPL)の1案件</p>
		<p>タシケント熱電併給所建設計画</p>	<p>有償</p>	<p>2017 年度 以前</p>	<p>2018 年度</p>	<p>2019 年度</p>	<p>2020 年度</p>	<p>2021 年度</p>	<p>2022 年度</p>	<p>120.00</p>	<p>SPLの1案件</p>
		<p>電力セクター能力強化計画</p>	<p>有償</p>	<p>2017 年度 以前</p>	<p>2018 年度</p>	<p>2019 年度</p>	<p>2020 年度</p>	<p>2021 年度</p>	<p>2022 年度</p>	<p>30.00</p>	<p>SPLの1案件</p>
		<p>エネルギーインフラ分野の課題別研修</p>	<p>課題別研修他</p>	<p>2017 年度 以前</p>	<p>2018 年度</p>	<p>2019 年度</p>	<p>2020 年度</p>				
		<p>コンバインドサイクル発電運用保守トレーニングセンター整備プロジェクト</p>	<p>技プロ</p>	<p>2017 年度 以前</p>	<p>2018 年度</p>	<p>2019 年度</p>	<p>2020 年度</p>			<p>5.63</p>	

		コンバインドサイクルガスタービントレーニングセンター強化プロジェクト	技プロ									2.00	
		火力発電(ガスタービン)維持管理研修	国別研修										

重点分野2 (中目標) 市場経済化の促進と経済・産業振興のための人材育成・制度構築支援




【現状と課題】民間セクターを中心とする経済への移行、国内産業の多角化・高度化、国際基準に合致した各種制度・法律等の整備・運用といった、改革を担う官民双方の人材育成にかかるニーズが依然として存在している。

【開発課題への対応方針】各種技術協力及び資金協力を通じて、官民双方の人材育成や制度構築などを中心とした支援を引き続き行う。

協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
				2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度		
開発課題2 (小目標) 民間セクターの活性化に資する行政・法基盤の整備、民間セクター実務人材の育成 民間セクター活性化プログラム	ウズベキスタンの経済発展のためには、市場経済化の一層の促進ならびに成長・基幹産業の育成が必要である。市場経済化促進に資する人材の育成を念頭に日本センタープロジェクトやボランティア活動など幅広い取組みを通じてビジネス人材育成・中小企業振興などの支援を行うとともに、今後の経済改革や技術革新を担う行政官や産業人材の育成に資する支援を行う。また観光振興のための国家戦略策定・人材育成に資する支援を検討していく。	人材育成奨学計画	無償							13.36	2013-17年の合計額
		ウズベキスタン日本人材開発センター・ビジネス人材育成・交流機能強化プロジェクト	技プロ							4.70	
		ウズベキスタン・日本青年技術革新センター研究能力強化プロジェクト	技プロ								
		タシケント情報技術大学メディア訓練センター機材整備計画	無償							1.88	
		ビジネス人材育成分野のシニア海外ボランティア派遣	JOCV/SV								
		中小企業の活性化分野のシニア海外ボランティア派遣	JOCV/SV								
		民間セクター活性化分野の課題別研修・青年研修	課題別研修他								
		ウズベキスタン金融財政アカデミー支援	財務省技協								
		観光開発分野での青年海外協力隊派遣	JOCV/SV								

重点分野3 (中目標)	社会セクターの再構築支援											
開発課題3-1 (小目標) 農業改革・地域開発	【現状と課題】 ウズベキスタンでは、人口の約5割が地方部に居住している一方、その重要な産業である農業のGDPに占める割合は約4分の1に留まっている。農業改革支援は市場経済化のための制度構築的な要素も併せ持っている。また近年、都市と地方の格差が拡大しつつあり、格差解消を目指した取組が必要となっており、住民自身の社会主義的メンタリティから市場経済的に対応できるメンタリティへの転換、経済合理性に基づく産業振興、インフラ構造の再構築などが課題である。	【開発課題への日本の対応方針】 農業・農村開発及び農業従事者の所得向上を目標に、農業従事者・地域住民の生活環境改善のため、付加価値のある農業振興や地域開発などの支援を行う。										
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
					2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度		
	農業改革・地域開発プログラム	ウズベキスタン農業に不可欠な灌漑設備に必要なインフラ整備やマネジメント改善を行うとともに、果樹栽培や養蚕など農業の付加価値向上に資する支援を行う。	アムハラ灌漑施設改修計画	有償	■	■	■	■	■	■	118.72	ADBとの協調融資
			農地改革・地域開発分野の草の根技術協力	草の根技協	■							リンゴ栽培
			農業改革・地域開発分野の課題別研修	課題別研修他	■	■	■	■				
			農業セクター支援のための高効率で経済的な渦巻ポンプ普及促進事業	民間提案型技協	■	■						
			農地塩害対策調査	農林水産省技協	■	■						国際農林水産業センター(JIRACS)実施
		農地塩害対策調査フォローアップ	農林水産省技協	■	■							
		リンゴ栽培技術の近代化による農家の生計向上事業	草の根技協		■	■						

開発課題 3-2 (小目標) 保健医療	【現状と課題】 保健医療分野は、独立後の経済・社会の変容の渦中において、医療従事者の技術水準の確保及び医療機材の老朽化に伴う医療の質的低下の防止、社会的弱者層の包摂や自立支援と経済合理性に基づく医療サービスへの質的転換及びコスト削減との両立を確保すること等が課題である。		【開発課題への日本の対応方針】 日本政府の「平和と健康のための基本方針」を念頭に置き、医療の質の向上及びシステム改善を目的とした資金協力、技術協力を、予防医療についても視野に入れながら行う。また、障害者支援等の社会福祉サービスの強化を通じて、障害者等の社会参加を促進する。						支援額 (億円)	備考		
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間							
					2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度			2021 年度	2022 年度
保健改革プログラム	技術協力による非感染性疾患（NCDs）の予防対策能力の向上、無償資金協力による医療機材整備、ボランティア派遣による障害者の自立支援等、各種スキームを組み合わせ相乗効果の高い支援を行う。更に、医療サービスの質的向上に資する資金協力の実施も検討していく。	予防医療の支援分野の青年海外協力隊派遣	JOCV	■								
		非感染性疾患予防対策プロジェクト	技プロ	■								
		医療機材ノン・プロジェクト無償資金協力	無償	■						5.00		
		医療機材分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■						0.36		
		障害者施設支援分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■						0.15		
		社会的弱者支援分野の青年海外協力隊派遣	JOCV	■								
		ナボイ州総合医療センター機材整備計画	無償	■						6.86		
		保健医療分野の課題別研修	課題別研修他	■								
中央アジア地域 障害者のメインSTREAMING及びエンパワーメント促進婦国研修員支援フォローアップ	課題別研修他	■										

地域の協力・発展に資する協力	【現状と課題】 複雑な国境線が交錯し、歴史的に多様な民族性や社会的相違を擁する中央アジア地域は、防災、環境保全、麻薬・越境犯罪やテロリズムへの対策にも直結する国境管理や貿易円滑化など、地域全体での取組を必要とする課題を抱えており、そうした課題の解決に向けては、地域レベルでの協力とともに、各国における能力構築や制度構築支援が必要である。とりわけ、防災や環境保全については、ウズベキスタンの専門家の世代間の知見の継承を確保し、キャンペーンの維持・強化を図ることが求められている。			【開発課題への日本の対応方針】 左の諸課題は、ウズベキスタン一国のみならず、中央アジア地域全体にも直接影響を与える問題であるとの認識の下、「中央アジア+日本」対話の枠組みにおける地域協力の方向性も念頭に置きつつ、他の重点分野とも関係する横断的なテーマとして同課題に取り組む。防災・環境保全については、インフラの更新・整備を通じたエネルギー効率の向上、環境負荷の低減、技術者に対する技術向上を通じたキャパシティ・ビルディング、周辺国とのデータ交換促進などの支援を行う。国境管理・麻薬対策については、周辺国との更なる対策協力の促進に資することも念頭に、ウズベキスタンの国内関係当局の能力強化に取り組む。								
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
					2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度		
	防災・環境管理プログラム	自然災害及び環境破壊等の人的災害の双方を対象に、被害を最小限に抑えるための人材育成（行政能力及び技術の向上）、モニタリング体制など制度面の整備、施設補修などの実際の災害防止措置の実施促進のための支援を行う。また気候変動に係る支援も検討していく。	防災・環境管理分野の課題別研修 災害レジリエンス強化	課題別研修他 無償	 							
国境管理・麻薬対策プログラム	ウズベキスタンがアフガニスタン産麻薬の流通ルートになっている等の現状を踏まえ、捜査、検出、押収など一連の対策活動にかかるウズベキスタン側当局の能力強化を図るための制度構築支援を行う。	省庁間の機動的なチーム設置を通じたウズベキスタンにおけるアフガニスタン産麻薬取引防止計画	無償									

【凡例】 「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修）、「JOCV」（＝青年海外協力隊）、「SV」（＝シニア海外ボランティア）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）、「水産無償」（＝水産無償資金協力）、「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本NGO」（＝日本NGO連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「情報収集調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協力スキーム）、「中小企業支援」（＝中小企業海外展開支援事業「基礎調査」、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに中小企業連携促進基礎調査）、実線「——」（＝実施期間）、破線「- - -」（＝実施予定期間）

※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。